

## 編集後記

本号巻頭言で横浜国立大学教授の松本先生に「建築鉄骨における溶接継目許容応力度の変遷」と題して、溶接が建築鉄骨の継手に用いられて以降、溶接継目許容応力度がどのような過程を得て変遷してきたか貴重な情報を提供して頂きました。鋼構造物において、溶接継手は現在では最も一般的な接合方法として定着しており、溶接品質確保は重大な課題だと考えます。今後若手溶接技能者の減少など溶接技術を取り巻く環境は厳しくなることが予想されますが、溶接施工ロボットの活用や AI の導入など最新技術を取り入れることで対応していく所存です。ご多忙の中、執筆をご快諾いただきました松本先生に心より感謝申し上げます。

本号の表紙には、橋梁、鉄構および環境事業を象徴する代表的な写真を掲載いたしました。また、当年度に完成した弊社事業の紹介をはじめ、DX を活用した業務効率化の取組みや研究報告、工事報告、環境事業に関連する風力発電への取組み、さらに関連会社である KH ファシリテックの鉄構工事紹介など、多岐にわたる内容を盛り込んでおります。

最後に、本号の発刊にあたり、多くの皆様からご協力を賜りましたことに深く感謝申し上げます。編集 WG 一同、誌面をお借りして厚く御礼申し上げます。

(小林 光博, 中本 啓介)

---

### 駒井ハルテック技報 作成関係委員 (50音順)

技術委員会	委員長：橋 肇	副委員長：	小林 光博				
	委員：東 博年	小川 路加	高尾 智之	高橋 順一	塚狭 研治		
	中本 啓介	森川 淳一	山田 俊一	吉村 鉄也			
	事務局：山内 隆						
編集WG	WG 長：中本 啓介	副WG長：	東 博年				
	幹事：小川 路加	高尾 智之	吉村 鉄也				
	委員：安達 昭宏	伊藤 哲也	岩永 直己	岡田 幸児	柿木 誠		
	狩野 哲也	小林 光博	佐藤 悠樹	高 良人	高橋 秀樹		
	武中 純一	塚狭 研治	松井 勲	山内 隆	山崎 義実		
	山本 佳宏	横田 慎二					

---

### 駒井ハルテック技報 Vol.14 2025

発行：2025年1月

発行所：株式会社駒井ハルテック

〒110-8547 東京都台東区上野一丁目19番10号

<https://www.komaihaltec.co.jp/>

印刷：株式会社シップス

〒270-2214 千葉県松戸市松飛台404番1号

<https://k-cips.co.jp/>

©株式会社駒井ハルテック (禁無断転載)